



(上・左)プリプリであっあつのカキは格別。



1 25 おおたけ自慢の海の幸 晴海臨海公園

第14回おおたけカキ水産まつりが行われ、約2万人が集まった。会場では、焼きカキ、あたたハマチとレモンの刺身が無料で配られたほか、カキ飯やカキフライなど、カキづくしの料理が用意され、訪れた人は大竹で採れたおいしい海の幸を満喫した。

また、ステージ発表では、サンフレッチェ広島島の野津田岳人選手、浅野拓磨選手、吉野恭平選手、広島東洋カープの久本祐一選手、河内貴哉選手、中村恭平選手のトークショーや広島県出身の歌手のライブなど、さまざまな催しで会場を盛り上げた。



サンフレッチェ広島島の選手に質問タイム。

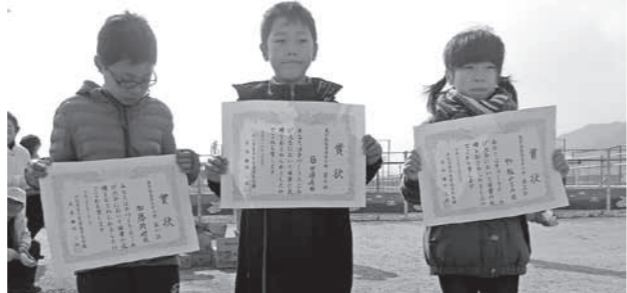
広島東洋カープの河内貴哉選手によるクッションボールノック。

2 8 たこ たこ あがれ 晴海臨海公園

子どもたちが思い思いに描いたたこが集った、手づくりたこあげ大会。あいにくの雨模様だったが、今年は24人が参加し、競技開始から3分後のたこの高さを競った。子どもたちは時折吹く強い風に苦戦しながらも、たこを一生懸命コントロールし、空高くあげていた。



(上)あちこちで、子どもたちが作った自慢のたこが空を舞った。
(左)空高くあげようと子どもたちが広場を駆け回った。
(下)小雨が降る中、一生懸命たこを操った。



(上)左から、高学年の部1位の加藤晴也くん、2位の福田優希くん、3位の野坂みなみさん。
(下)左から、低学年の部1位の渡辺創士くん、2位の福田亮佑くん、3位の中村航くん。



2 13 伝統を守り支える力 大瀧神社氏子会館

大竹の伝統行事「ひな流し」に使う“さんだわら”を青少年育成市民会議のメンバーが製作。4日間かけて、毎回約20人が集まり、今年は630個作られた。子どもたちの幸せを願い、一つ一つ丁寧に編まれた。

さんだわら作りに約10年参加している畠中雅子さんは「さんだわらを丸く編んでいくのが大変ですが、毎年編むうちにだんだん慣れてきます。当日は子どもたちが手を合わす姿が楽しみです」と笑顔で話してくれた。



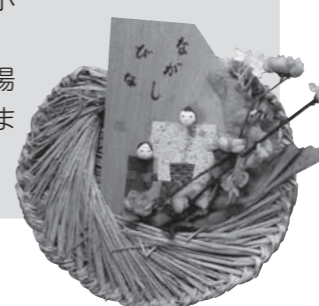
一つずつ丁寧にわらを編んでいく。



ひな流し

とき 3月8日(日) 10時~12時頃
※ 木野会場の流し始めは11時頃からです。

ところ 木野両国橋下河原、青木神社前河原、住吉神社前河原、旧穂仁原小学校前河原
※ 木野会場は、その場で流しびなが作れます。(先着100セット)



広報おおたけ

MARCH 2015 No.1172

CONTENTS

3

- 03 カメラスケッチ
- 04 ありがとう、栗谷中学校
- 06 いっしょに考えよう
- 08 市奨学生募集／市奨学金返還免除制度
- 09 晴海臨海公園の使用料および受付場所を変更します
- 10 県議会議員一般選挙／広告募集
- 12 帰ってきた gomidas / ケーブルテレビを楽しもう
- 14 公民館まつり
- 16 生涯学習講座
- 17 ジュニアリーダー育成事業活動報告
- 18 子ども予防接種週間
- 19 総合介護予防教室事業
- 20 国保通信
- 22 防災シリーズ
- 24 春季全国火災予防運動／生活にお困りの方の経済的な自立を支援します／就学援助制度があります
- 26 3月は自殺対策強化月間
- 27 みんなで考えよう公共交通
- 28 市外在住で引き続き修学する方、学校を卒業する方、届出を忘れずに／マイナンバー制度、はじまります
- 29 シリーズ
- 30 としょかんだより
- 31 情報ステーション
- 35 つどいの広場／親と子の本の広場／子育て／健康／福祉／講座／催し／募集／お知らせアラカルト／先どり情報ステーション
3月～4月(上旬)のお知らせ
- 36 はじめまして／おおたけ水産GOGO市